

## 6番 川崎 勝 議員

## 1 畜産環境センター廃止後の活用について

(1) 令和5年3月定例会の代表質問において、「畜産環境センターについては老朽化も進み、寿命が来ており、活用は難しい。今後は堆肥舎等として利用するなど有効な活用方法について検討していく」と答弁している。昨年、祓川環境保全組合が東原町に糞尿処理施設を計画し地元説明会を実施したが、地域住民による反対意見が多く施設計画は頓挫したと聞く。現在の状況と今後の方針を示されたい。

また、畜産環境センターの廃止後の活用策として、東原町内にある老朽化した県経済連養豚場及び祓川環境保全組合を併せて移転・整備する考えはないか、示されたい。

## 2 中学校設立について

(1) 現在の東原小学校の卒業生の多くは鹿屋中学校に進学している。通学路は交通量も多く、急な坂道もあることから自転車通学には雨天時等は危険で心配だとの声が保護者から届いている。人口減少が進んでいることは理解しているが、子どもたちの安心・安全の観点から将来的に中学校の設立はできないか、見解を示されたい。